

**アークフラッシュ施工された老人施設 7年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> **アークフラッシュNEWS をダウンロードによりご覧頂きます**

栃木県内の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖が延べ41クラスとなり、流行期に入った。県は「流行は例年より早い」として注意を促している。今シーズンのインフルエンザの流行は、例年より1カ月ほど早い12月半ばから始まった。県健康福利課によると、県内小学校の6日現在の学級閉鎖数は延べ41クラス。平成14年度の221クラスや18年度の71クラスと比べて流行の規模は小さいものの、県健康増進課は「毎日のように学級閉鎖が起こっており予断を許さない状況」と説明する。また、県内73カ所の定点医療機関から第4週（1月21～27日）に報告された患者数は1069人。県東健康福祉センターを除く、宇都宮市保健所、県北、県西、県南、安足健康福祉センターの1医療機関あたりの患者数は、県が定める注意報レベルの10人を超えた。特に足利市や佐野市を管轄する安足健康福祉センターは、30・50人と警報レベル（30人）を超えるなど県南地域での流行が目立つ。流行しているインフルエンザのタイプは「Aソ連型」で、予防接種の型と一致している。すでに流行が始まっているが、健康増進課は「時期的には少し遅いかもかもしれないが、予防接種を受けてほしい」と話す。県では、地元テレビ局やラジオのCMを通して、インフルエンザ予防を訴えるほか、予防策として、（1）こまめに手洗い、うがいをする（2）外出時には人込みを避ける（3）部屋の換気や加湿を心がける - ことなどを呼びかけている。

保健省は4日、新たに2人の高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）感染者を確認したと発表した。うち、バンテン州出身の29歳の女性はすでに死亡している。感染者の累計は126人、死者数は103人となった。一方、先月29日にH5N1で死亡した男性（32）の遺族は4日、入院していた2病院を告訴した。訴えによると、男性が24日に入院した同州タンゲランのバクティ・アシ・タンゲラン病院ではデング熱と誤診された上、デング熱治療に必要な輸血も受けられなかった。また、26日に転院した東ジャカルタのプルサハバタン病院では、手術の同意を求められなかったにもかかわらず、遺体には胸や腹部に切開のあとがあるという

参院予算委員会は4日午前、福田康夫首相と関係閣僚が出席して社会保障に関する集中審議を行った。厚生労働省の西山正徳健康局長は鳥インフルエンザが人から人に感染する新型に変異した場合、流行が8週間続いたと仮定すると1日あたりの入院者数がピーク時に最大約10万人にのぼるとの見通しを示した。桜井充氏（民主）の質問に答

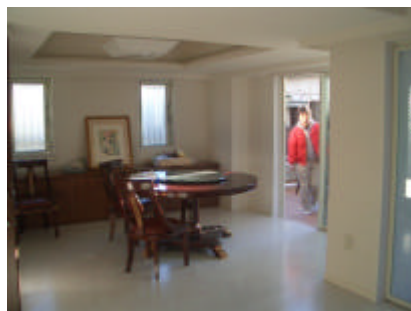
えたもの。西山局長は「感染者病床や結核病床を使用しつつ、患者数の増加に応じ一般病床や公的な研修施設の宿泊施設を利用する計画で準備を進めている」と説明した。

先月に行われた松江市の社会福祉施設・松尾会館(同市松尾町)の地域イベント参加者らが食中毒の症状を訴えた問題で、松江市は14日、原因物質をノロウイルスと特定したことを発表した。感染源は分かっていない。松江市によると、先月26日に松尾会館で開かれた地域イベントで、参加した52人のうち34人がおう吐などの症状を訴えた。うち2人は入院したが、すでに全員が回復したという。松江保健所が調べた結果、感染源はノロウイルスと特定。26日の地域イベントで一斉感染したとした

### << 施工報告 >>



伊勢原市住宅



歯科医



日本体育大学男子寮



金沢ホームシーサイド



久保田デンタルクリニック



\* 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.com](mailto:sasagawa@arc-flash.com)

過去のアークフラッシュNEWS はホームページよりご覧になれます。